



カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852-8113
長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-843-3417
振替口座 01880-5-2699
発行人
大 水 文 隆
印刷所
株式会社 藤木博英社

教皇さまの意向

- ・一般 ボランティアの方々が、惜しみなく奉仕できるように社会の隅に追いやられた人々の隣人となるように
- ・宣教 戦争の記憶が、次世代の平和につながるように
- ・日本

「教区シノドス公式提言」司教研修会

全てのの人に信仰を伝える努力を

ドスの経緯とその内容を共有することにある。

提言書作成過程と
公式提言作成の意図

教区シノドス中央委員会委員長を務めた山脇守師(司教総代理・滑石主任)は、提言書の作成過程を次のように説明した。



6月8日(月)午前10時30分から大司教館で司教研修会が開催され、約70人が参加した。この研修会の目的は、教区シノドス提言を具体的に実施していくにあたって、司祭団が教区シノ

ドスの経緯とその内容を共有することにある。

を共に生き、伝えるために」を第4会期で審議・修正、シノドス議員58人中57人の賛成をもって採択し、大司教に提出した(14年12月号3～6面)。

続いて高見三司教が、公式提言作成の意図を述べた。本来ならば提言に対して「教令」という形で答えるべきであるが、行事などの諸事情で時間がとれず、大司教の権限で最終提言を3つの基本方針と9つの提言としてまとめ、これを公式提言としたことが説明された。その多くは当たり前なこと。背伸びしなくても始めることができよう作成した。また「長崎は家庭で信仰を守り伝えることには長けているが、自分の信仰に対する意識が弱いように感じ

る。受け身的な信仰ではなく、

全てのの人に伝えることをもって強調し、努力すべき」と語り、それが「父の家に帰ろう、そして出かけよう(以下略)」とタイトルを変えた理由とした。

教区シノドス提言推進会議

午後からは高見三司教が提言実施に向けての注意点を講話。第2パチカン公会議文書、特に教会憲章を精読し、価値基準とするよう招いた。

質疑応答に続き、下野英知師(教区本部事務局長)が教区シノドス提言推進会議の設置について説明した。推進会議は、提言を実施する主体を明確にし、必要に応じて調整・確認・指導を行う。メンバーは教区評議会役員から選出され、他に法務代理、諸活動部門委員長、修道会・教育施設・福祉施設・青年の代表者が加わることが提案された。6月30日の教区顧問会で審議・決定されることを確認し、午後3時に終了した。

黙想ノート——私の使い方①

深堀教会 宮崎美和子

教区評議会は、今年度の活動方針「神のいづくしを生きよう」を具体的に実践するために「黙想ノート」を発行しました。主日の福音を一週間味わいながら、日々の生活の中に神のいづくしを見つめ、感じたことを自由に書き留めるノートです。黙想ノートを利用している方々に、紙上でその使用法を分かち合っています。

「生きる」というタイトルにまず心を惹かれまして。そして、神さまのいづくしに深く浸り、これまでもあまり意識したことのないことにあらためて気づかされ、いい機会になればと黙想ノートを始めてみました。

まずノートの後ろにある朝・晩の祈りをしながら福音書を読み、一つの単語をマーカーで塗っています。一週間同じ福音書なので飽きるんじゃないかなと思いましたが、昨日は何も感じなかったみことが今日は心に留

まることもあり、驚きで一日を振り返るようにしています。始めは、その日の特別な出来事やうれしかったことが頭に浮かんでいましたが、毎日続けていくと、自分の失敗や嫌な思いをしたこと、人を傷つけてしまったことの中にも、「神のいづくし」があることに気づかれました。辛かったことも、神さまがその

出来事を通して伝えたいことがあったのだと思うと、辛かった、嫌だった、申し訳なかったという気持ちで終わるのではなく、神さまはどんなことからでも私にいづくしを注いでくださっていると思えるようになりました。また、何も特別なことがなかった一日にも、変わらぬ神さまの深いいづくしの中に生かされていることを感謝できるようにになりました。みことばの大切さは分かっていても、聖書を手

生活していくことはなかなか難しいので、黙想ノートの助けを借りながら身近に感じていけたらと思います。

正直に言うとう、毎日欠かさずノートをつけているわけではありません。できない日もやらない日もありますが、なるだけ神さまとの語らひは続けていきたいです。そして神さまのいづくしの中に生かされている自分自身を大切にするとともに、周りの人とも神さまのいづくしを共に生きていけたらと思います。

最後の教区婦人会総会

大司教、女性のさらなる活躍を期待

5月31日(日)教区連合婦人会総会が、各小教



松浦悟郎司教が着座



年4月に行われた布池教会での司祭叙階式について触れ、「司教様はごあいさつの中で「名古屋教区に喜んで来る」ということと、ご自分の出発点に当たり「神様が新しい二人の司祭をプレゼントしてくださったことに感謝する」と話され、本当にうれしく思いました。司教様を信頼し、ご指導のもと共に歩んでまいります」と話した。

ミカエル松浦悟郎司教の motto は、「Pax et Justitia Christi in terra」(キリストの正義と平和がこの地上に)。

右近を支えた謙虚さと感謝

高山右近帰天400周年を記念して講演会

6月22日(月)二十六聖人記念館ホールにおいて、「ユスト高山右近帰天400周年記念特別講演会」が開催された。講師は教皇庁立グレゴリアナ大学教授・同大学霊性研究所所長のアントン・ヴィットヴェル師(イエズス会)、通訳は二十六聖人記念館館長のデ・ルカ・レンゾ師(同会)が務めた。

ヴィットヴェル師は、右近の霊性に触れながら、その中心となったものが「謙虚さと感謝」であり、この2つが右近の



女性に参加する女性部が、各評議会の中でさらに活躍をするよう期待している。また、日力連の活動の一つである「いのちを守る運動」基金から、4団体に支援金が贈呈された。

午後は、活動報告・決算報告の後、女性部移行について説明があった。「いのちを守る運動基金」については、趣旨の中に「支援とともに啓発活動も目的とする」とあること

いた」と感想を語った。東京と大阪では、6月21日(日)上智大学、24日(水)大阪梅田教会で、中央協議会列聖推進委員会主催による記念シンポジウムが開催され、ヴィットヴェル師が基調講演を行った。

戦後昭和の代名詞とされる1960年代、日本は高度経済成長期の真っただ中であつた。64年には東京オリンピック開催、68年にはGNPがアメリカに次ぐ第2位。「東洋の奇跡」とも呼ばれるこの経済成長は、日本人にとって、ある意味で戦後を終わらせる誇りとなつた。▲「もう70年にならずとですな。」1945年、当時22歳だった女性、畑に行く途中で被爆したという。「助かったことも、長生きできたことも、ぜんぶお恵みだと思つたります。神さまは、お恵みを与えて奇跡を起こしてくださるとですな。神さまは私を見捨て

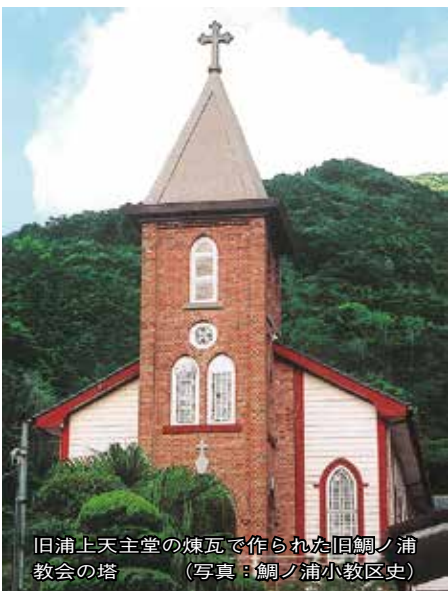
ておき、2つの生き方の違いは、出来事すべてに理屈をつけて終わるか、その背後の存在にまで目を向けるかにあるように思う。▲150年前、日本の信徒発見の知らせを受けた教皇ピオ9世は、これを「東洋の奇跡」と呼んだといわれる。この信仰伝達に多くの理屈があることは確かだ。しかし最も腑に落ちるのはその背後におられる方に目を向けたとき。「神さまは私を見捨てんやうとです。」信仰告白はいつも、出来事を通して示される「神のいづくし」への感謝と感動である。(F・O)

ほしかげ

信徒発見150周年と高山右近列福に向けて
これだけのことは知ってほしい(最終回)

七十年目の伝言

長崎教区司祭 川添 猛



旧浦上天主堂の煉瓦で作られた旧鯛ノ浦教会の塔 (写真:鯛ノ浦小教区史)

体験を「旅の話」として伝えていく。信仰のために耐えぬいたことを伝えるために。被爆の惨事の中で信徒としてどうだったのかも語り残しておいていただきたい。これから書き残そうとするのは、その中のひとつである。

——神父さまの家族はどうなりましたか。

おれが9歳のとき父が、小学1年の弟は後を追うようにその2カ月後に亡くなった。除隊した兄は大神学校にもどり、4月11日の東京空襲でだめだった。原爆投下の4カ月前のことよ。『先に天国へ行くと母に伝えてくれ』が最後のことばだったらしい。3人の姉はトラピストのシスターじゃった。おれがひとり生き残つとる。

——あの日はどこにいましたか。

職工学校を卒業し、三菱兵器製作所の大橋工場に出勤しとった。母とあとでトラピストに行く姉との3人暮らしでね。11時40分ごろ長崎市橋口町208番地にあった家に帰ったけど、なにもなかったよ。

——お母さんは無事でしたか。

被爆体験の記憶をどう継承していくのか、が問われているという。核兵器の非人道性を具体的に世界へ伝えることが被爆証言の目的であろう。では、核兵器を使用しない戦争に非人道性はないのか。「原爆の被害を強調することで日本は『侵略の歴史』を否定し、加害者の立場をうすめようとしている」と反論する国もある。

昭和の浦上崩れ

70年前のあの原爆は、はじめから浦上を狙って投下されたと言説く外国人が最近あらわれ、取材しているらしい。何を言いたいのか知らないが、どんな時代にも、政治、経済、戦争などの裏で暗躍する勢力はある。大きな臭い話はさておき、70年前の8月9日は「四番崩れ」につぐ「昭和の浦上崩れ」であった。「旅」に出たキリシタンたちは、宗教的洗脳、重労働、拷問、飢え、疫病などの

た。見つけに行った姉が天主堂の焼け跡で見たのはたくさんのお骨で、その中のいくつかを母のものとして破れバケツに入れ持ち帰ってきた。ゆるしの秘跡のため、60人ほどいたらしい。まだすんどらんでも、神さまは罪を赦してくださいと思う。

「昭和の浦上崩れ」には2人の司祭がいたことも伝えておく。主任司祭の西田三郎神父と平戸から手伝いにきていた玉屋房吉神父で、ともに浦上出身である。告解場の跡で見つかった遺骨は、焼け残ったスーターのボタンと無事に帰っていた信者さんたちの証言で、玉屋神父のものとなった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

——「昭和の浦上崩れ」には2人の司祭がいたことも伝えておく。主任司祭の西田三郎神父と平戸から手伝いにきていた玉屋房吉神父で、ともに浦上出身である。告解場の跡で見つかった遺骨は、焼け残ったスーターのボタンと無事に帰っていた信者さんたちの証言で、玉屋神父のものとなった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

被害の小さかった近隣の教会から信者さんたちが出て、西田神父を探し始めた。このうわさを耳にし、最後に駆け付けた大浦教会の信者さんの目に、気になる動きがうつつた。レンガの残骸のすき間を出入りする何匹かのハエである。そこに西田神父の遺体があった。

教区司祭黙想会

今年の黙想会は5月と6月の2回が組まれ、司祭は都合のよい日程に合わせて参加した。

大司教館 5月26日(火) 29日(金)、大司



大木章次郎師(右)

教館を会場に行われた黙想会は大木章次郎師(イエズス会)が指導。自身の召命体験と、イエズス会が経営する日本の学校で教育に携わり、後に志願してネパールの貧しい子どもたちの教育に身を投じ、「みづの教育に信頼して生きる」ことを深く心に刻んだと語った。

「家庭で『ご聖体よりも尊いものはない』と教えられ、司祭になりたいが時代は戦争に向かっていて、召し出しを決めていただくために軍隊の経験に委ねた。広島で終戦を迎え、イエズス会のア

構群も公園の片隅にひとかたまりに雑然と置かれ、貴重な資料というより、粗大ゴミの捨て場のようだ。『(遺壁の)所有権を主張するつもりはない。ただ遺壁は現地にあった方が被爆の実相がよくわかるはず』と川添猛・同教会主任は語る。同市のこれまでに、そして今後の遺構保存のあり方について問題をつきつけたといえる。これは1990年7月3日の西日本新聞朝刊からの抜粋である。

1948年、川口善助神父は鯛ノ浦教会の改築に着手した。2004年3月1日発行の「鯛ノ浦小教区史」にそれについての次のような興味深い記事が載っている。

「その頃、牛馬の商人であった戸村若助氏は長崎まで牛を運搬船で運んでいたがその帰途、浦上天主堂の原爆によって瓦礫となった煉瓦を教会改築の資材にと思い立ち、浦上教会の了解をえて、五島まで搬入するという、実に献身的な協力をした。今もその煉瓦によって構築された塔は威風堂々と残っている。」

この記事の語り部は70年前のあの日19歳、書き手は油木町にあった長崎商業学校の1年生で13歳。被爆者健康手帳の恩典にあずかりながら、大司教館で余生を過ごしている。

は、6月9日(火) 12日(金)の日程で行われ、山内堅治師(聖パウロ修道会)の指導のもと、10人の司祭が参加した。

「頭を使う講話ではなく、ゆつたりとゆるい話にします。ゆつくり体を休めながら、皆さんの司

静かな語りの中に、揺るぎない確信を届けようとする講話は、参加した司祭たちにあらためて摂理への信頼を呼び覚ました。

立山修道院 イエズス会立山修道院での黙想会

は、6月9日(火) 12日(金)の日程で行われ、山内堅治師(聖パウロ修道会)の指導のもと、10人の司祭が参加した。

「頭を使う講話ではなく、ゆつたりとゆるい話にします。ゆつくり体を休めながら、皆さんの司

静かな語りの中に、揺るぎない確信を届けようとする講話は、参加した司祭たちにあらためて摂理への信頼を呼び覚ました。

立山修道院 イエズス会立山修道院での黙想会

は、6月9日(火) 12日(金)の日程で行われ、山内堅治師(聖パウロ修道会)の指導のもと、10人の司祭が参加した。

「頭を使う講話ではなく、ゆつたりとゆるい話にします。ゆつくり体を休めながら、皆さんの司

静かな語りの中に、揺るぎない確信を届けようとする講話は、参加した司祭たちにあらためて摂理への信頼を呼び覚ました。

立山修道院 イエズス会立山修道院での黙想会

は、6月9日(火) 12日(金)の日程で行われ、山内堅治師(聖パウロ修道会)の指導のもと、10人の司祭が参加した。

「頭を使う講話ではなく、ゆつたりとゆるい話にします。ゆつくり体を休めながら、皆さんの司

静かな語りの中に、揺るぎない確信を届けようとする講話は、参加した司祭たちにあらためて摂理への信頼を呼び覚ました。

立山修道院 イエズス会立山修道院での黙想会

は、6月9日(火) 12日(金)の日程で行われ、山内堅治師(聖パウロ修道会)の指導のもと、10人の司祭が参加した。

「頭を使う講話ではなく、ゆつたりとゆるい話にします。ゆつくり体を休めながら、皆さんの司

静かな語りの中に、揺るぎない確信を届けようとする講話は、参加した司祭たちにあらためて摂理への信頼を呼び覚ました。

立山修道院 イエズス会立山修道院での黙想会

は、6月9日(火) 12日(金)の日程で行われ、山内堅治師(聖パウロ修道会)の指導のもと、10人の司祭が参加した。



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明

☎(095) 862-2469

長崎市梁川町6-17 岩永ビル

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子

(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号

倉長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8488

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送
も致します)

貨物保険有り

- ・一般引越
- ・小荷物
- ・遠距離
- ・学生引越
- ・ピアノ運搬

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄

長崎市上野町12-3
TEL (095) 847-7151
844-1420

聖マリア学院小学校
平成28年度 児童募集!

Love To Learn and Learn To Love

第2回オープンスクール
9月26日(土)
「体験教室」
「学校説明会」
「ランチタイム」

第3回オープンスクール
「第36回音楽祭」
11月21日(土)

入学試験
11月28日(土)
予備日
11月29日(日)

安心・安全
放課後活動

ソフトボール部
ミニバスケット部
音楽クラブ
アートクラブ
習字教室
そろばん教室

学童クラブ

授業日の放課後、
18時まで無料で
実施。

一人ひとりの、いのちの輝きを大切に
HPをチェック!!

〒852-8023 長崎市石原町6番5号 Tel: 095-844-1549 聖マリア学院

戦後70年 司教団メッセージ

平和を実現する人は幸い

—今こそ武力によらない平和を

戦後70年の今年は、第2バチカン公会議(1962〜65年)が閉幕して50年にあたる。公会議を招集した当時の教皇ヨハネ23世は、公会議開幕の年に起こった「キューバ危機」(冷戦下にあった米ソの緊張が核戦争寸前まで高まった状況)の際、平和のアピールを行い、危機回避に大きな役割を果たしたという。翌63年、教皇は回勅『パーチェム・イン・テリス——地上の平和』を發布。カトリック信者だけでなく、「善意あるすべての人へ」宛てられたこの回勅は、第2バチカン公会議の実りである『現代世界憲章』に引き継がれることになった。

「わたしには、平和という善のために努力を惜しまず行う任務があります」(『地上の平和』89)と言われた聖ヨハネ23世。また、被爆者に対するメッセージの中で「皆さんの生きざまそのものが、すべての善意の人に向けられた最も説得力のあるアピール——戦争反対、平和推進のための最も説得力のあるアピールなのです」(恵の丘長崎原爆ホームにおいて、81年2月26日)と語った聖ヨハネ・パウロ2世。現教皇フランシスコも今年3月20日、アド・リミナ中の日本司教団に次のように語った。

「皆様の平和運動、とりわけ70年前、第2次世界大戦の終わりに広島と長崎の人々が受けたばかりではない苦しみを世界に伝えようとする皆様の努力に對し、心から感謝します。これらすべての活動において、皆様は共同体の必要に對処するだけでなく、教会と社会の対話を深めるための機会も生み出しています。この対話は極めて重要で、なぜなら、それは相互理解をはぐくみ、共通善に向けた協力を促進すると同時に、福音を告げ知らせるための新しい道を切り開き、これからイエス・キリストと出会う人々を招いているからです」(カトリック中央協議会談話)。

教皇が世界に向けて発信し続ける平和のメッセージを受け留め、また、自らも平和への願いを祈りと行動に託す日本の教会。今年2月に発表された日本司教団による戦後70年司教団メッセージ「平和を実現する人は幸い——今こそ武力によらない平和を」は、1995年と2005年に発表された司教団メッセージと合わせて小冊子となり、5月に発行された。長崎教区では全世帯に配布され、理解を深める研修会も計画されている。

現代に生きるカトリック信者として平和の実現に向け何ができるか、何をすべきか。司教団メッセージと、長崎から平和を伝える動きを振り返り、戦後70年の今とこれからを考える機会としたい。

教区広報委員会



日本司教団のアド・リミナ(2015年3月20〜26日・バチカン)

キリストにおける兄弟姉妹、ならびに平和を願うすべての方々へ

日本カトリック司教団はこれまで、1995年に『平和への決意——戦後五十年にあたって』、また2005年には『非暴力による平和への道——今こそ預言者としての役割を』というメッセージを発表してきました。戦後70年を迎える今年、ここに改めて平和への決意を表明することにしたします。

1 教会は人間のいのちと尊厳に関する問題に沈黙できない

カトリック教会にとって今年は、1962年から1965年にかけて行われた第2バチカン公会議の閉幕から50年という記念すべき年にもあたります。20世紀の前半、ヨーロッパを中心としたキリスト教会は、2つの世界大戦やナチスドイツによるユダヤ人の大量虐殺などを経験しました。これらの悲劇の反省から教会は、いわゆる宗教的な領域に閉じこもるのではなく、人類の問題を自分の問題として受け止めなければならぬと自覚するようになりました。第2バチカン公会議の終わりに発表された『現代世界憲章』の冒頭には、その自覚が次のような文章ではっきりと示されています。「現代の人々の喜びと希望、苦悩と不安、



被爆2世の健康問題と被爆体験の継承に取り組む。1

970年代、多くの被爆2世が白血病で亡くなりました。初めは被爆者が子どもの健康を心配し、厚生省に被爆者と同様に援護施策を行ってほしいと要望、運動が始まり40年近くになります。

長崎県被爆2世の会

会長 丸尾育朗さん



放射線の遺伝的影響についてはマウスなどの実験で報告されているが、日米共同研究機関の放射線影響研究所はホームペー上で「原爆被爆者の子どもに臨牀的または潜在的な影響を生じたという証拠は得られていない」と安を抱える人や病気で亡

世につないで、核兵器廃絶を目指したい。平和への転換点がきつとある」福島第1原発の放射線被害については専門家の意見は二分。しかし影響が多い世界に向けての平和の発信は、長崎の使命だと思っています」最近心に残った教会での出来事は、「諫早教会出身の」稲田神父様が叙階されたことと笑む。穏やかな笑顔が印象的だが、「子どもの頃、自分の言ったことを絶対まげない。頑固」と言われてました。家内(京子夫人)からも言われますが……」と話す。諫早教会所属。67歳。長崎教区平和推進委員。

とくに貧しい人々とすべての苦しんでいる人々のものは、キリストの弟子たちの喜びと希望、苦悩と不安でもある。真に人間的なことがらで、キリストの弟子たちの心に響かないものは何もない」(1)。

第2バチカン公会議後のカトリック教会は、フランシスコ現教皇にいたるまで、人間のいのちと尊厳の問題、とくに抑圧された人や排除された人の問題に真剣に、積極的に向き合おうとしています(2)。

2 戦争放棄への決意

1945年までの日本の朝鮮半島などに対する植民地支配、中国や他のアジアの国々に対する侵略行為はアジアの人々に大きな苦しみと犠牲をもたらしました。また、日本人にとっても第2次世界大戦は悲惨な体験でした。1945年3月10日の東京大空襲をはじめ、日本の多くの都市への大規模な空襲がありました。沖縄における地上戦によって日本や外国の兵士だけでなく、多数の民間人が犠牲になりました。そして8月6日広島への原爆投下と8月9日長崎への原爆投下。これらの体験から平和への渴望が生まれ、主権在民、戦争放棄、基本的人権の尊重を基調とする日本国憲法が公布されました(1946年)。日本はこの平和憲法をもとに戦後70年、アジアの諸国との信頼・友好関係を築き、発展させたいと願って歩んで来たのです。



聖ヨハネ23世

一方、世界のカトリック教会では、東西冷戦、ベルリンの壁崩壊などの時代を背景に、軍拡競争や武力による紛争解決に對して反對する姿勢を次第に鮮明にしてきました。ヨハネ23世教皇は回勅『地上の平和』において「原子力の時代において、戦争が侵害された権利回復の手段になるとはまったく考えられませんが」と述べています。第2バチカン公会議の『現代世界憲章』は、軍拡競争に反対し、軍事に頼らない平和を強く求めました(4)。1981年、ヨハネ・パウロ2世教皇が広島で語った平和アピールのことは、「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死で

3 日本の教会の平和に対する使命

日本カトリック司教団は、特別に平和のために働く使命を自覚しています。それは何らかの政治的イデオロギーに基づく姿勢としてではなく、人間の問題として、平和を訴え続けます。この使命の自覚は、もちろん日本が広島、長崎で核兵器の惨禍を経験したことにもよりますが、それだけではなく戦前・戦中に日本の教会がとった姿勢に對する深い反省から生まれてきたものでもあります。

1986年9月26日、東京で開催されたアジア司教協議会連盟総会のミサにおいて、白柳誠一(東京大司教(当時))は次のように述べました。「わたしたち日本の司教は、日本人としても、日本の教会の一員としても、日本が第2次世界大戦中にもたらした悲劇について、神とアジア・太平洋地域



4 歴史認識と集団的自衛権行使容認などの問題

戦後70年をへて、過去の戦争の記憶が遠いものとなるにつれ、日本が行った植民地支配や侵略戦争の中で人道に反する罪の歴史を書き換え、否定しようとする動きが顕著になってきています。そして、それは特定秘密保護法や集団的自衛権の行使容認によって事実上、憲法9条を変え、海外で武力行使できるようにする今の政治の流れと連動しています。他方、日本だけでなく、日本の周辺各国の政府の中にもナショナリズム強調の動きがあることにわたしたちは懸念を覚えずにはいられません。周囲の国と国との間に緊張がある中で、自衛権を理由に各国が軍備を増強させるよりも、関係改善のための粘り強い対話と交渉をすることこそが、この地域の安定のために必要なのです。

また日本の中でとくに深刻な問題は、沖縄が今なお本土とは比較にならないほど多くの基地を押しつけられているばかりか、そこに沖縄県民の民意をまったく無視して新基地建設が進められているということです。ここに表れている軍備優先・人間無視の姿勢は平和を築こうとする努力とは決して相容れません。

5 今の世界情勢の深刻な危機の中で

今、世界を見渡せば、各地で軍事的な対立やテロの悲劇が繰り返されています。国家

間、民族間の対立、宗教の名を借りた紛争が激しくなり、対話を不可能と感じさせるような状況が世界各地に広がっています。その中で数多くの人々、とくに女性や子ども、少数民族や宗教的マイノリティの人々のいのちが脅かされ、実際にいのちが奪われています。世界各地で続くこのような惨状について、フランシスコ教皇は「第3次大戦」という人もいえるだろうとの懸念を表明し、過ちを繰り返さないようにといさめました。この世界は結局のところ、力があるという世界なのかと疑わざるをえないような危機的状況に直面しています。人間性を尊重する理性はどこへ行ってしまったのでしょうか。暴力を押しさえ込むために新たな暴力を用いるようなやり方を繰り返しては、人類全体が破滅に向かうだけです。

世界はグローバル化された企業や金融システムの力に支配されています。その中で格差は広がり続け、貧しい人々が排除されています。人間の経済活動は気候変動や生物多様性の喪失を引き起こすまでになっています。平和の実現のためには、このような状況を変えること、世界の貧困や環境の問題、格差と排除の問題に取り組むことが不可欠です。わたしたち一人ひとりにも地球規模の問題に対する無関心を乗り越え、自分の生活を変えることが求められています。わたしたちにできることは、すべての問題を一気に解決しようとせず、忍耐をもって平和と相互理解のための地道な努力を積み重ねることです。

おわりに

もう一度、ヨハネ・パウロ2世教皇が広島で語った『平和アピール』のことはを思い起こします。

「目標は、つねに平和でなければなりません。すべてをさしおいて、平和が追求され、平和が保持されねばなりません。過去の過ち、暴力と破壊とに満ちた過去の過ちを、繰り返してはなりません。陰

謀り、人間の尊厳を尊厳たらしめるものであり、人間の運命をまっとうさせるものであります。平和への道のみが、平等、正義、隣人愛を遠くの夢ではなく、現実のものとする道なのです」⁽⁸⁾

わたしたちは「平和を実現する人は幸い」(マタイ5・9)というイエス・キリストの言葉にも励まされます。戦後70年、第2バチカン公会議閉幕50年にあたり、平和を求め、平和のために働く決意を新たにしましょう。わたしたち日本のカトリック教会は小さな存在ですが、諸教派のキリスト者とともに、諸宗教の信仰者とともに、さらに全世界の平和を願うすべての人とともに、平和を実現するために働き続けることを改めて決意します。

スラムの指導者らも加わった。サン・ピエトロ広場での教皇謁見では教皇の席に近い場所に席をいただき、巡礼団の紹介もあった。正式の謁見の後には、枢機卿や高見大司教を含む司教らが一人一人フランシスコ教皇にあいさつした。期間中、希望者27人は、ヨハネ・パウロ2世が1986年に世界平和祈禱集会を開催した地、アシジも訪れた。高見大司教は、今回の巡礼の感想を次のように語った。

長崎・広島の宗教者が巡礼

スペインとバチカンから平和のメッセージ

「スペイン・アンダルシア地方のマラガとグラナダに行きました。そこは7世紀から15世紀にかけてイスラム教の支配下にあったところですから戦争もありましたが、キリスト教とユダヤ教とイスラムの信者たちが平和に暮らす時代もありました。アルハンブラ宮殿そばのホテルで、広島と長崎の神道・仏教・キリスト教の人たちが、トルコとスペインのイスラムの人たちと一緒に平和のために祈り、平和について

的な領域に限定されるべきもので、天国に行くために靈魂を整えるためだけにあるなどと主張することはできません」。

(3) 教皇ヨハネ23世回勅『地上の平和』(1963年)⁶⁷⁾

(4) 『現代世界憲章』⁸¹⁾

(5) 日本国憲法前文「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」同9条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる

(6) 1986年6月日本カトリック司教協議会定例司教総会。

(7) 教皇フランシスコ「第一次世界大戦開始100年にあたつての戦没者追悼式典でのごとく」イタリア、フォリアーノ・レディブーリアの慰霊施設にて(2014年9月13日)。

(8) 教皇ヨハネ・パウロ2世『広島平和アピール』(1981年2月25日)⁵⁾。

戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」。

2015年2月25日
日本カトリック司教団

注

- (1) 第2バチカン公会議『現代世界憲章』(1965年)1。
- (2) 教皇フランシスコ使徒的勸告『福音の喜び』(2013年)182。「司牧者には、科学の貢献を受け入れつつ、人間の生活に作用するすべてのことがらについて意見を表明する権利があります。もはや、宗教は私

新作能「長崎の聖母」米公演報告

伝統文化を通して、平和と核兵器廃絶を訴える

米国ニューヨーク・国連本部での核拡散防止条約(NPT)再検討会議に合わせ、新作能「長崎の聖母」がニューヨークとボストンで上演された。公演を手掛けた2015 NAGASAKI WEEK K I N N Y実行委員会の関係者らが6月1日(月)、長崎原爆資料館を訪れ、田上富久長崎市長に報告した。

新作能「長崎の聖母」は、原爆投下後の惨状と浦上の復活、平和への祈りをテーマに、多田富雄東大名誉教授(2010年4月逝去)が書き、鏡仙会が制作した作品。

浦上教会の共催のもと浦上教会で初演されその後もさまざまな場で演じられてきた。

海外上演は今回が初めて。日本の伝統文化である能という形式を取り、長崎を舞台とした演目を通して核兵器廃絶への関心を高めていきたいと、実行委員会が企画。5月14・16日ニューヨークのジャパン・ソサエティーで、5月20日ボストンの昭和女子大学レインボーホールで公演を実施し、多くの人が来場したという。



被爆60周年にあたる2000年、純心学園と浦上教会の共催のもと浦上教会で初演されその後もさまざまな場で演じられてきた。海外上演は今回が初めて。日本の伝統文化である能という形式を取り、長崎を舞台とした演目を通して核兵器廃絶への関心を高めていきたいと、実行委員会が企画。5月14・16日ニューヨークのジャパン・ソサエティーで、5月20日ボストンの昭和女子大学レインボーホールで公演を実施し、多くの人が来場したという。

公演では、米国人を中心とする観客のために英語の字幕が準備された。公演では、米国人を中心とする観客のために英語の字幕が準備された。

被爆70周年 (1945 - 2015)

平和祈願祭

2015年8月9日(日)

母マリア像はスペインに生まれ、同じ運命をたどり、同じ愛で全世界に 広がって平和を訴えています。
2010年4月26日にスペインのブルゴシアで設置された二つのマリア像は、本年8月9日長崎の地で 再度対面することになります。

テーマ 日本の歴史発見150周年に当たり (1865 - 2015)

私の願い、あなたと同じ 世界平和。

- 平和祈願ミサと被爆マリア像の奉納式 (浦上教会) 時 間 : 午後6時
- 松明行列 (浦上教会から平和公園) 出発式 : 午後8時

主催: カトリック長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会
連絡先: 浦上教会 (095-844-1777)

雨天の場合は、松明行列は中止します。

2014年度決算に関する報告 カトリック長崎大司教区

〔収入の部〕

科 目	決算額
1. 経常収入の部	448,418,683
教区費	129,508,534
信 徒	113,167,666
司 祭	8,035,000
修道会	6,370,000
教区費等収入前年度分	1,935,868
特定献金	33,049,736
神学生養成援助費（封筒）	11,236,236
世界広報の日献金	2,278,733
聖ペトロ使徒座への献金	6,679,097
世界難民移住移動者の日献金	2,385,029
世界宣教の日献金	2,321,121
宣教地司祭育成の日献金	3,505,601
児童福祉の日献金	4,643,919
特別献金	31,967,615
寄付金	14,197,799
献金収入（本部関係）	14,415,020
ミサ奉納金（ビナチオ・トリナチオ）	2,059,000
ミサ献金（教区行事）	1,295,796
諸委員会活動費	6,559,354
(1) 信仰養成部	1,709,528
信仰教育委員会	18,518
生涯養成委員会	1,691,010
典礼委員会	0
青少年委員会	0
信仰養成部	0
(2) 福音化推進部	728,105
人権委員会	0
福祉委員会	262,600
平和推進委員会	460,405
エキュメニズム・諸宗教委員会	3,000
福音化推進部	2,100
(3) 教会奉仕者等養成部	0
召命促進委員会	0
神学生養成委員会	0
(4) 小共同体推進室	167,074
(5) 家庭特別委員会	533,000
(6) 広報委員会	1,241,319
(7) 教区本部事務局	19,628
(8) 信徒発見 150 周年委員会	1,631,700
(9) シノドス中央委員会	529,000
その他	247,333,444
保険金収入	0
受取利息	94,993
非課税事業収入	6,719,976
小教区拠出金	228,659,712
雑収入	11,858,763
2. 財務収入の部	100,000,000
その他の財務収入	100,000,000
国宝保存財務資金	100,000,000
資金取崩収入	0
雑収入	0
その他収入	0
3. 前年度繰越金	91,423,152
収入の部合計	639,841,835

〔支出の部〕

科 目	決算額
1. 経常支出の部	565,941,473
宗教活動費	14,333,723
祭儀費	2,840,206
特別行事	0
助成金（小教区）	4,261,613
教区評議会	2,048,934
シノドス中央委員会	5,182,970
諸委員会活動費	50,903,259
(1) 信仰養成部	5,149,917
信仰教育委員会	1,296,029
生涯養成委員会	2,329,243
青少年委員会	756,486
典礼委員会	671,063
信仰養成部	97,096
(2) 福音化推進部	5,608,189
人権委員会	1,544,560
福祉委員会	607,294
平和推進委員会	2,139,510
エキュメニズム・諸宗教委員会	1,255,791
福音化推進部	61,034
(3) 教会奉仕者等養成部	1,215,349
召命促進委員会	1,185,139
神学生養成委員会	30,210
教会奉仕者養成委員会	0
教会奉仕者等養成部	0
(4) 小共同体推進室	0
(5) 家庭特別委員会	1,260,093
(6) 広報委員会	6,655,082
(7) 教区本部事務局	2,066,867
(8) 信徒発見 150 周年委員会	28,947,762
負担金	23,302,539
中央協議会送金	15,487,421
使徒座送金	7,215,118
心のともしび	600,000
神学生養成費	68,407,491
日本カトリック神学院	27,473,686
長崎カトリック神学院	18,000,000
長崎コレジオ	10,000,000
福岡コレジオ	11,970,000
大神学生諸経費	913,805
助祭生活費	50,000
司祭生涯養成費	9,821,850
黙想研修会	7,821,850
海外留学費	2,000,000
不動産管理費	2,413,683
管理費	437,929
租税公課	1,975,754
人件費	313,841,745
聖職者（本部関係）	29,374,000
聖職者（小教区）	173,540,000
引退司祭	9,204,400
職員（本部関係）	49,621,620
職員（小教区）	52,101,725
福利厚生費	37,363,449
法定福利費（本部）	30,071,641
法定福利費（小教区）	3,017,987
福利厚生費	1,361,195
福利厚生費（医療費）	1,488,876
医療共済制度（カリス）	1,423,750
年金（掛け金）	0
維持管理費	21,014,803
大司教館	13,347,175
カトリックセンター（管理部門）	7,667,628

科 目	決算額
事務費	15,348,703
教区管理費	14,773,079
法人事務所	575,624
その他の支出	8,583,094
巡礼センター業務委託料	600,000
退職引当金	2,404,000
非課税事業支出	5,579,094
雑費	607,134
2. 財務支出の部	8,884,295
財務支出	385,504
利子支払（借入金）	385,504
積立金支出	3,000,000
司教活動資金	3,000,000
不動産取得資金	0
その他支出	0
退職引当金	0
その他	5,498,791
預り金等収支差額	5,498,791
3. 次年度繰越金	65,016,067
支出の部合計	639,841,835

カトリックセンター事業部門

〔収入の部〕

科 目	決算額
宿泊収入	45,817,525
会議室収入	2,563,750
レストラン収入	11,401,216
売店収入	413,620
営業雑収入	760,970
その他の収入	403,927
前年度繰越金	3,000,000
収入の部合計	64,361,008

〔支出の部〕

科 目	決算額
人件費	20,908,663
法定福利費	1,488,935
福利厚生費	1,508,722
什器備品	2,084,920
消耗品費	6,758,098
修繕費	308,310
旅費交通費	133,000
自動車諸費	1,279,406
通信費	446,231
水道光熱費	5,899,254
広告宣伝費	118,320
支払手数料	1,712,471
公租公課	3,694,974
接待交際費	66,054
保健衛生費	1,593,774
雑費	1,946,452
食材仕入支出	5,787,399
売店仕入	498,357
保険・会費	582,670
研修費	329,797
寄付金	350,000
退職金	150,000
退職引当預金支出	1,052,145
内部借入金返済	4,000,000
次年度繰越金	1,663,056
支出の部合計	64,361,008

（70分）3240円、地域

「長崎市尾上町1番88号」に移動しました。

「五島市岐宿町岐宿1648」に変わりました。

●長崎巡礼センターが

「長崎市尾上町1番88号」に移動しました。

2階」に移転しました。

（日本）の信徒発見150周年記念DVD

「長崎のCDVD」の予約を受け付けています。総合版

お知らせ

（住所変更）
●お告げのマリア修道会
水ノ浦修道院の住所が
「五島市岐宿町岐宿1648」に変わりました。

2014年度決算に関する報告

72小教区決算集計表

〔収入の部〕

科 目	決算額
1. 経常収入の部	1,093,506,330
献金収入	787,203,542
教会維持費	405,619,305
ミサ献金	115,277,022
ミサ奉納金	191,815,500
祭儀献金	48,258,314
その他の献金	26,233,401
寄付金収入	81,187,933
一般寄付金	31,396,528
指定寄付金	7,045,271
司祭寄付金	8,391,457
修道会寄付金	1,760,000
その他の寄付金	32,594,677
その他の収入	59,836,996
教区補助金収入	5,395,879
受取利息収入	188,815
墓地納骨堂管理費収入	11,391,800
行事収入	5,097,848
非課税事業収入	2,072,537
雑収入	35,690,117
預り金収入	165,277,859
教区費	116,410,782
神学生養成援助費（封筒）	10,604,294
児童福祉の日献金	2,402,842
世界広報の日献金	2,147,517
聖ペトロ使徒座への献金	2,471,060
世界難民移住移動者の日献金	2,407,964
世界宣教の日献金	2,281,571
宣教地司祭育成の日献金	2,250,715
特別献金	2,997,484
預り金	1,946,429
一葉募金	5,711,334
クリスマス募金	4,197,278
カリタスジャパン募金	6,381,026
その他の募金	3,067,563
2. 財務収入の部	598,159,687
内部借入金収入	303,367,541
外部借入金収入	4,000,000
特別目的預金取崩収入	54,117,202
境内地拡張費積立金収入	2,544,000
境内建物建設増改築積立金収入	53,029,603
土地売却代金収入	30,000,000
修理費積立金収入	68,215,969

科 目	決算額
雑収入	15,178,428
教会建設積立繰越金受入	64,429,887
教会建設献金受入	487,800
教会建設寄付金受入	2,789,257
3. 前年度繰越金	707,171,490
収入の部合計	2,398,837,507

〔支出の部〕

科 目	決算額
1. 経常支出の部	1,053,747,074
小計 I	886,433,111
祭儀費	43,011,809
教化費	22,422,793
教育養成費	35,517,107
図書費	7,056,550
出版刊行費	11,735,599
行事費	44,796,956
負担金	26,454,845
維持管理費	69,497,142
備品修繕費	19,589,097
保守管理費	15,466,400
墓地管理費	11,335,654
保険料	25,168,429
給与手当	243,358,197
雑給与	24,778,865
退職金	3,805,000
福利厚生費	12,812,637
法定福利費	5,029,831
会議費	4,335,755
消耗品費	19,075,187
器具備品費	15,409,218
リース料	13,340,446
通信費	13,617,551
旅費交通費	15,992,004
自動車諸費	19,571,787
水道光熱費	81,503,841
接待交際費	20,418,668
公租公課	1,052,790
支払利息	0
補助金支出	22,917,983
支払手数料	189,845
非課税事業支出	2,579,318
雑費	26,635,307

科 目	決算額
司祭活動費補助	4,380,000
修道院献金	3,576,500
小計 II（預り金支出）	167,313,963
教区費	115,391,669
神学生養成援助費（封筒）	10,624,024
児童福祉の日献金	2,407,375
世界広報の日献金	2,172,600
聖ペトロ使徒座への献金	2,498,353
世界難民移住移動者の日献金	2,411,786
世界宣教の日献金	2,287,319
宣教地司祭育成の日献金	2,189,655
特別献金	5,485,876
預り金	2,206,781
一葉募金	5,789,049
クリスマス募金	4,248,744
カリタスジャパン募金	6,468,315
その他の募金	3,132,417
2. 財務支出の部	625,751,959
内部借入金返済支出	353,231,333
外部借入金返済支出	4,000,000
土地取得支出	0
建物取得支出	85,966,558
構築物購入支出	13,912,337
器具備品購入支出	29,393,425
特別目的預金積立支出	118,257,771
境内建物建設増改築基金	16,878,937
その他の支出	4,111,598
3. 次年度繰越金	719,338,474
支出の部合計	2,398,837,507

	2013年度	2014年度
世帯数	18,098	18,062
①維持費 / 世帯数 / 月	1,890	1,871
②教区費 / 世帯数 / 月	540	537
③教区費 / 維持費（％）	29.0	28.7
④ミサ奉納金 / 世帯数 / 月	859	885
⑤ミサ献金 / 世帯数 / 月	538	532

2015年 四旬節愛の献金

総額 4,736,999円 (7/1 現在)

上記献金の他、直接カリタスジャパンへご送金いただいている分もあります。皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

教区顧問会を開催

新役員、14年度決算など承認

6月30日（火）教区顧問会が大同教館で開催され、2014年度収支決算書をはじめ教区シノドス提言推進会議の設置などが審議、昨年新設された佐々小教区（主任小瀬良明師）の運営状況などが報告された。

まず人事異動に伴い、小島栄師（引退）に替わって山脇守師（司教総代理・長崎北地区長・滑石主任）が責任役員に、下口勲師（大浦主任）に替わって久志利津男師（長崎中地区長・浦土主任）が監査に選出された。続いて、高見三明大司教が5月の教区評議会総会と6月の司祭研修会で構想を説明した、教区シノドス提言推進会議の設置が承認された。

新設されて1年を経た佐々小教区は、信徒数696人（佐々教会133人、潜竜教会372人、旧・江迎教会191人）、そのうち近隣の小教区から転籍した信徒は40戸105人となった。昨年度は教区から200万円の援助があったが、経済的な自立が見通せるため、今年度からは支給されない。また、教会を外部の人たちにも開放している様子や近所との交流など、開かれた教会を目指して活動していることが報告された。

版（5地区・各10分）各1080円。長崎大司教区発行・制作・著作、NCC制作・協力。申込先は「長崎の教会群インフォメーションセンター」。申込書は各教会または教区ホームページにて。

会計報告——14年度決算書を受けて



なり、その負担は従来以上に重くなる。このため、来訪者にも教会維持保全のために負担をお願いすることはご理

解いただけると考え、7月1日、国宝大浦天主堂拝観料の改定を行うに至った。料金は下表の通り。

支出の部では、信徒発見150周年という記念の年を迎え、多額の出費を伴った。たくさんの方のご寄付やご奉仕を忘れてはならない。

また、佐々小教区設立、小瀬戸集会所、上神崎教会、深堀教会の新築など、教会建設に伴う出費および小教区互助基金の貸付も多額となった。互助基金の管理状況は、預託金

宗教法人カトリック長崎大司教区の収支決算書が6月30日、教区顧問会で承認された。収入の部では、教区費の減少傾向が続いている。国宝大浦天主堂（写真）拝観料に依存した教区運営から脱却できないでいるのが現状で、過疎化・高齢化を考慮すると、将来を見据えた改善策を具体的に検討する必要がある。

さらに築100年以上が経過して老朽化が激しくなってくる教会も多く

人事異動・任命

▼教区（6月28日付）

古木真理一師 病氣療養（時津主任）

岩本 繁幸師 時津小教区管理者（会計兼務）

（ ）内は前任地

7月1日から大浦天主堂拝観料を改定

区 分		大 人	中高生	小学生	障がい者		
					大 人	中高生	小学生
一 般	改定前	300	250	200	150	130	100
	改定後	600	400	300	300	200	150
団 体 (20人～)	改定前	250	200	150	130	100	50
	改定後	500	300	200	250	150	100

教区会計 岩本繁幸

西日本の司祭団が交流

90人超が参加—ソフトボール大会



大分チーム(左) vs. 広島・高松チーム

開催地を
変えて開
かれてい
て、長崎
開催は今年が初めて。開
会式では各教区から新司
祭が選手宣誓に立ち、開
催地の高見三明大司教が
始球式を務めて熱戦が繰
り広げられた。

晴れ渡る5月25日
(月)、西日本の6教区(長
崎・福岡・大分・広島・
高松・大阪)から司祭・
修道者が集まり、交流を
深めるソフトボール大会
が長崎市松山町の市営ソ
フトボール場で開催され
た。90人を超える参加者
の中には、前田万葉大阪
大司教、諏訪榮治郎高松
司教、宮原良治福岡司教、
浜口末男大分司教らも選
手として加わっていた。
この大会は年ごとに

カリタス大槌ベースボランティア募集

- 9月17日(木)～23日(木) (8/26 締切)
- 10月15日(木)～21日(木) (9/30 締切)
- 11月12日(木)～18日(木) (10/28 締切)
- 12月10日(木)～16日(木) (11/25 締切)

申し込みは所属小教区へ。問い合わせは教
区本部事務局(松尾)まで。

Tel. 095-842-4450 Fax 095-842-4460

召命祈願ミサ

5月29日(金) 19時か
ら大浦天主堂で、高見三
明大司教主司式、13人の
司祭団の共同司式のもと
召命祈願ミサが行われ
神学生、志願生、信者ら合
わせて約140人が集ま
り共に祈った。

説教師は、今年3月に
司祭に叙階された稲田伸
也師(浦上教会助任)。
稲田師は自身のこれまで
の歩みを振り返り、互い



が支え合っていくような
共同体の在り方、司祭や
修道者、それとは別の生
き方、それぞれの道すべ
てが神から呼ばれている
「召命」だと語り、祈り合
い、互いが互いを支え合
う共同体となることで、で
きるよう恵みを願った。
今回で16回目を数えた
召命祈願ミサ。神学生の
1人は、「実際に信者さ
んと触れ合うことで、真
に祈ってくださっている
というのを感じる。自分
自身も召命について考
えることができる」と話
した。今回のミサは10月
頃、小教区で実施の予定。

アグネス

下崎麗子修道女

(お告げのマリア修道会)



6月12日、腸閉塞のた
め、上五島病院で逝去。
1924年新上五島町
桐生まれ。42年桐修道院
に入会。57年初誓願、63
年終生誓願宣立。
得意の生花や美しい声
で典礼を飾り、信仰教育
に励んだ。保育園の給食
や司祭館奉仕を務め、お

ヨゼフィナ

萩原百合修道女

(お告げのマリア修道会)



6月24日、聖フランシ
スコ病院で逝去。40歳。
1975年大阪市生ま
れ。88年入会。95年初誓
願、2002年終生誓願
宣立。
保育と主に食事づくり
にたずさわった。明朗活
発なシスターで、よく笑
い、よく歌い、惜しみなく
人に奉仕した。その人柄

江迎教会が閉鎖

感謝のうちに新たな歩みを

今年4月29日の「閉鎖
ミサ」をもって、江迎教
会が正式に閉鎖されたこ
とを、長崎教区の皆様に
ご報告いたします。

「私が父のもとから送る弁護
者、すなわち父のもとから出る
真理の霊が来る時、その方が私
についてあかしをする。」
(ヨハネ15章26節)

みことばにふれて119

江夏国彦神父
(本原教会)



母への手紙
今年は終戦70周年を迎えま
す。8月15日は終戦記念日で
あると同時に聖母被昇天の祭
日です。被昇天後もマリアは
教会の母として、永遠の命を
育む神の業への大いなる協力
者として働いておられます。
母なる聖マリアへの感謝の心
で、私たちもマリアに倣って
神の業の協力者となるよう招
かれています。

「日本一短い母への手紙」
という本の中に載ったある青
年の手紙は、読者の想像を豊
かにさせてくれる文章です。
「あと十分で着きます。手
紙より先に着くと思います。
あとで読んで笑ってください
い。」

おそろくいつもは、母のも
とを離れて暮らす青年が久し
ぶりに帰郷するとき、家にた
どり着く十分前に母親に宛て
て書いた手紙を投函したので
とを離れて暮らす青年が久し
ぶりに帰郷するとき、家にた
どり着く十分前に母親に宛て
て書いた手紙を投函したので

マリアの子であるイエス・キ
リストも、別れに先立って、母と
弟子たちを慰めるために聖霊を
遣わすことを約束されました。
それは一時的な慰めではなく、
永遠に続く、しかもこの世のあ
らゆる不条理の根本的解決策を
与える真理の霊でした。このイ
エスのほかに、何物にもか
えがたい弟子たちへの愛に満ち
た心配りだったのです。その同
じ霊は今もキリストの弟子と
なった私たちの上にも豊かに注
がれているのです。

感謝

— 香典返し —

- 長崎カトリック神学院
● 柴田ヒロ子様 (深堀)
- 故マリア山口ヨシエ様
- 富岡勝彦様 (浦上)
- 故マリア富岡アキミ様
- 葛島ミツエ様 (奈留)
- 故ミカエル葛島信一様
- 吉浦スミ子様 (褥崎)
- 故フランシスコ 吉浦磯次様

右の方々からご芳志を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

支えてくださった高見大
司教様をはじめ、司祭、修
道者、各教会の信徒の皆
様には、大変お世話にな
りました。心より感謝申
し上げます。

神様の恵みが、皆様の
上に豊かにそそがれます
ように、旧江迎教会信徒
一同心よりお祈り申し上
げます。感謝のうちに。

旧江迎教会評議会
議長 前田敏子

新刊良書

★YOU CAT—堅信
の秘跡 青年向けカテキ
ズム「YOU CAT」の
姉妹編。個人での読書や
講座に。カトリック中央
協議会、税別900円。

★酒井しゅうこと辿る
聖フランチェスコの足跡
—アッシジ聖なる風景
—著者「酒井しゅうこ」
写真・渡部信光。人々の
心に生き続ける聖人の息
吹を一冊の小箱に閉じ込
めました。聖人を身近に
感じる教会の書店、修道
院の宿なども紹介。サン
パウロ、税別1800円。

★コラッジョ!!—ド
ン・ボスコの夢は続く
原作「サレジオ会日本
管区、作画「鈴木ぐり、監
修「浦田慎二」。「レ・ミ
ゼラブル」のヴィクトル・
ユーゴーも心酔した神
父、ドン・ボスコ。世界
待望の漫画化。ドン・ボ
スコ社、税別1000円。

カトリック深堀教会納骨堂「ラザロ館」

納骨櫃 好評販売中!!

1室 55万円・60万円 全240室

●風光明媚な深堀の丘の上にある静かな環境! ●車横付け・駐車場完備!



下段は骨壺(大)が
4つ入る大きさです

お問い合わせ
お申し込みは

カトリック深堀教会

長崎市深堀町5-272
☎ 095-871-3459
受付時間 10時~15時 (但し月曜日を除く)

ご先祖に心より感謝を・・・

材石 治明

長崎本店 長崎市城栄町 13-1 電話 (095) 846-3598
大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

マイホームの美容と健康に!

(有) 山川 塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729